

# 香川大学 教員養成 G P 公開フォーラム 「研究推進校との協働による教員養成の高度化」

～ 200名の参加を得た公開フォーラム～

平成19年3月10日(土)の午後、サンポート高松 第2小ホールにおいて、「香川大学教員養成 G P 公開フォーラム」が開催された。天候にも恵まれ、当日約200人の参加を得て、盛会裡に終了した。

1年目を終えた段階での中間まとめとなる公開フォーラムでは、まず、開会行事として、来賓の安部文雄副学長(本学教育担当理事)の挨拶に引き続き、香川県教育委員会長谷川和弘教育次長の挨拶を頂いた。

続いて、実践報告では、まず、G P プロジェクト実践報告を大学教員から概要説明を行った後、今回のG P の活動の主役であった大学院生のA P チームからの活動報告(3事例)がなされた。それを受けて、A P チーム



を指導した大学教員、受け入れ校として協力していただいた公立校の代表、両者連携の中核となった県教育委員会担当者といった3者の立場から、指定討論者としてコメントをいただいた。

その後、休憩時間を利用して、ロビーではパネル発表が、大勢の人混みの中で、A P チームごとに7箇所で行われた。「このG P を通してどうあなた自身が変わったのか」など、短期間のなかでどのように協働しながらの実践研究



を行ったかに関心が寄せられた。パネル発表では、その後の記念講演の講師である文部科学省大臣官房総括審議官の金森越哉氏も参加され、直接院生が説明するなど、貴重な体験となった。

記念講演では、元香川県教育長であった金森越哉氏から「これからの学校教育と教師教育」と題し、香川県での体験を交えた興味深い講演が行われた。そこでは、教育基本法の改正に伴う背景とそして、今後学校教育を支える教師を養成する大学・大学院がどうあるべきか、教員養成の在り方等、分かりやすく話された。



今回は中間まとめとなるフォーラムではあったが、本学部教員の約7割弱の教員が参加するなど、充実した協力体制もあり、香川大学教育学部にとって大きな成果を上げることが出来た。

なお、公開フォーラム終了後、プロジェクト修了証書授与式並びに懇親会・情報交換会が別の会場で催された。

当日、公開フォーラムの様子については、テレビ放送2局(KSB、OHK)、新聞報道1社(四

国新聞)にて紹介された、また、予告のスポット報道(NHK)があり、1週間後は毎日新聞四国版のコラム(本学阪根委員連載コラム“子どもたち伝言”)でも当日の内容などが紹介された。このように、多くの参加者と報道という視点からも、大学の新たな取り組みの情報発信となった。